

普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)8月31日
所属名：東近江農産普及課西部
番号：E23003
部門分類：570(青少年)
発信者名：岡本、橋本、大角

高校生が農業の魅力学ぶ

当課は、農業大学校(以下、農大)および湖東農産普及課と連携して、八日市南高等学校(以下、八日市南高校)の生徒が農業に関する知識と理解を深め、就農への意欲を高めることを目的に、7月31日に竜王町の株式会社ファームタケヤマ(以下、ファームタケヤマ)と農大にて現地研修を実施しました。本研修には農業科園芸専攻の希望生徒6名が参加しました。

ファームタケヤマでは、竹山代表取締役よりご自身の就農の経緯や農業のやりがいと苦労について、経営者の観点からお話をいただいた後、丁寧に管理されたナシ、ブドウ、イチジクのほ場を見学しました。生徒は、「農業の魅力は自分のしたいことができること」、「人がやっていないことにチャレンジすること」というお話を熱心に聞くとともに、ほ場では八日市南高校で行っている仕立て方と比べながら説明に耳を傾けていました。

農大では、専攻別の学習内容や学校生活についての説明を受けた後、最新技術を導入したICTハウスや滋賀県独自の養液栽培システムである少量土壌培地耕の栽培が可能なハウス、果樹園を見学しました。

研修後のアンケートから、参加した多くの生徒が職業選択としての農業に対する関心が高まっていることが分かり、夏休み中の現地研修ではありましたが、生徒にとって自身の進路について考える貴重な機会となりました。

当課では今後も八日市南高校と連携し、高校生に農業の魅力を伝え、農業に関わる「人のすそ野」を広げられるよう取り組みます。



図1 ファームタケヤマでの現地研修の様子



図2 農大での施設見学の様子